

「1番の方、どうぞ」

「あつ、あああ、あの、は、初めまして……」

「初めまして、パイズリアイドル『ズリズリZ^{ゼット}』の
しカップ担当、エルミですっ。
今日はパイズリ会に来てくれて
ありがとうございますっ☆」

ズリズリZ
パイズリ会

「私、まだ新人なのに最初から
エルミの列に並んで頂いて、
とっても嬉しいですっ♡」

1人1回まで

プル
ン
♡

プル
ン
♡



「ほ、僕、パイズリメンバーの中では
エルミちゃんが推して……。
パイズリ会来たのも、今回が初めてで……
き、今日のために、2週間オナ禁してきましたっ」



「わあ、☆私のために、そんな頑張って
溜めてくれたんですか??
ありがとうございますっ お兄さん♡♡
それじゃ、はりきって
パイズリしちゃいますね♡♡」

「脱いじやった方が良いですか??はい、どうぞ♡」

（うわあ…!あ、アイドルの、生乳首…!）

「それじゃいきますよー、
まずはむぎゅーって挟んで——」

ユサ♡

ユサ♡

ムチ♡



「はあ、はあ……！
え、エルミちゃん、
104センチ！カップパイズリ……！」

ズ
ポ
ポ
……

「うわああああ!? や、ヤバイ……！
こ、こんなの、我慢できな……!!」

「わわっ!?
えっあ、あれ!?」

ビ
ュ
ン
……

ビ
ュ
ン
!!



はーいお兄さん、後がつかえてますから
射精終わったら変わってくださいねー

*女パイズリマネージャー

「うう…そ、そんな……エルミちゃんとの
パイズリ会、ずっと
楽しみにしてたのに……
こ、これで終わりだなんてえ……」

（お兄さん、せっかく来てくれたのに…
かわいそう……）

ド
ゾ
♡

「えいっ☆」

ムギウウウウ

「あああああ!?!
え、エルミちゃん!?!」

「あは☆すっごく濃い我慢汁出ましたね〜♡
お兄さん、とっても遅いです♡♡」



（エルミちゃん!?!もしかして、僕が落ち込んでたから
射精したの誤魔化してくれて…!!?
な、なんて良い子なんだっ）

「ううう…き、気持ちいいよお、
エルミちゃんっっ」

「ほんとですか??
嬉しいです♥イキたくなったら、遠慮せずに
びゅっびゅっしてくださいね♥♥」



「え、エルミちゃんっ!!エルミちゃん!!
あっあっ...!」

「あっ...♡♡とうとう
出ましたねえ〜♡
ふふ♡♡♡」



